

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達・子育て支援センター わくわくかん
------	---------------------------

公表日 令和7年2月27日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫していると思う点・ 改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 運営・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	2		訪問に際して特に何か教具や教材をもっていくということはないですが、「こういうものを使ってみてはどうですか」等アドバイスのことはさせてもらっています。	今後必要な教具や教材等があった時は準備し、よりよい支援につなげていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		希望に応じて訪問させていただいていますが、利用希望が多くなっているため、人数を増やしていくことが必要と思っています。	利用希望者が増加しているので、対応できるように、経験を積んだ職員を支援員にし、職員配置を増やしていくように取り組んでまいります。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			児発や放デイの利用児が多いので、いろんな職員と情報共有しながらPDCAサイクルに参画し、支援に当たっています。	足りない面もあると思いますので、しっかり取り組んでいきたいと思えます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			保護者評価表は今回が初めてですが、日々保護者の意向を把握しながら業務に努めていくよう努めています。今後も努めてまいります。	意向を把握し、今後も業務改善に努めてまいります。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			都度、職員同士で情報共有を行っています。利用児が多くなってきているので、もう少し時間を設けたり、改善できるところは一緒に考えながら進めていきたいと思っています。	今後も同様に機会を設けて、業務改善に繋げていきたいと思えます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			貴重なご意見をいただいています。地域の発達支援をより充実できるよう努めていきたいと思っています。	今後も同様に機会を設けて、業務改善に繋げていきたいと思えます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			事業所内や法人内合同で、五蘊分析や育ちのミカタを用いて研修や事例検討を行っています。外部の研修にも職員の希望に応じ、積極的に参加してもらっています。	今後も資質向上に向けた研修を工夫し、取り組んでまいります。
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			日ごろからの子どもの様子や保護者の方からアセスメントを行い、今必要な支援は何か？何が課題となるのかを話し合い、情報収集し、育ちのミカタなどのツールを用いる等して支援計画を作成しています。	今後もアセスメント、ニーズ把握と客観的な視点で分析しながら作成していきます。

適切な支援の提供

9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			日々子どもたちと関わっている職員としっかり情報交換し、共通理解・共通認識を持ったうえで、本人にとって何が求められていることかを考慮して検討を行っています。	引き続き、こどもの最善の利益につながるよう考慮して検討を行い作成したいと思います。
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			先生と訪問時に話し合うなどし、連携して計画作成できるよう努めています。	先生方も日々の業務が忙しい中ではある中話し合いを持ってくださっているので、負担にならないように、かつ、先生方の意向や困りごとをしっかりと把握し紫煙計画につなげていけるように努めています。
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	引き続き共有をし、計画に沿った支援を行っていきたい。
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			日々の支援の中での様子や訪問先での様子などインフォーマルなアセスメントを行い、必要に応じて育ちのミカタを用いて分析するなどして確認しています。	これまでと同様の確認方法に加え、育ちのミカタや他のツール・指標などを参考にして取り組んでいきます。
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			訪問の様子や保護者や施設等からのお話を聞き、ガイドラインを踏まえ、利用児一人一人に対し具体的に支援していけるよう内容を設定するよう努めています。	引き続き、左記の通り取り組んでいきます。
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			共有し、行っています。	引き続き、共有して行っています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			2人体制で行く場合は必ず打ち合わせ、情報の共有を行いチームで連携できるよう努めています。	職員がしっかりと連携が取れるよう、引き続きチーム支援を重視し、行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			共有しています。	その都度行っているため、引き続き共有していきます。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			訪問先の園や学校によって理念や訪問支援の考え方が違いますので、実施する際はどのような風に訪問支援させていただくかを共有し、施設側を尊重し、信頼関係を築いていけるよう考えながら支援するよう努めています。	理念や訪問先の考え方を尊重しながら信頼関係をしっかりと構築していきたいと思います。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			訪問の様子を記録し、話し合いや今後につなげたいことも併せて記入するにしています。	引き続き記録を取り、検証・改善につなげていきます。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			半年に1回はモニタリングを行い、計画の見直し等必要かどうか判断して計画を作成しています。	引き続き、適切に行えるよう今後も努めます。

関係機関 や 保護者 との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			参画しています。	引き続き、子どもの様子をよく知っている職員が参画するよう調整していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		障害福祉課や保育幼児教育課、地域の保健師、地域の保育園・こども園・幼稚園と連携して支援を行えるよう、体制を整えています。	今後も関係機関と連携して支援できるよう取り組んでまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			就園・入園の移行支援は本人も保護者の方も困りを抱えないように、また保育園等や学校にスムーズに移行できるよう、支援会議を開いたり情報共有や相互理解を図れるようにしています。	移行支援に関しても丁寧に行っていきますので、引き続き、支援会議や連携会議を開いていきたいと考えています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			地域の病院の医師や公認心理士に助言を受けたり、発達障がい者支援センターとも連携して助言を受けたり、センター主催の研修会に参加したり、外部研修で職員が資質向上のために受けたい時は参加できるようにしています。	引き続き、質の向上を図る為、研修や外部との連携助言等受けたいと思います。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2	1		研修会には積極的に参加しています。自立支援協議会子ども部会に入会参画したい旨は伝えています。	自立支援協議会に参画し、子ども・子育て会議等にも積極的に参加して情報収集していきたいと考えています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			面談や電話等でしっかり伝え、共通理解を持っています。	引き続き、丁寧に取り組んでまいります。
保護者	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			木曜日の午前に保護者の方が集まって話し合える場や研修会などを設け、情報共有等を行っています。	保護者の方の意向を把握しながら研修機会を増やしていければと考えています。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			利用開始の際に丁寧に説明しています。	引き続き、丁寧に取り組んでまいります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			訪問支援に初めて入る際や年度ごとに担当が代わったりするので、訪問支援の目的や趣旨等は丁寧に説明するようにしています。	引き続き、丁寧に取り組んでまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			訪問後に保護者に丁寧に様子をお話しし、本人にとってどうすることがよいのかなどを一緒に考えたり、子どもの思いや状況等を伝えるなどして、意向を確認する機会を設けています。	引き続き、機会を設けていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			本人の様子を伝えながら、丁寧に支援内容を伝えて同意を得ています。	引き続き、丁寧にお伝えして同意を得ていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			半年に1回はモニタリングをしています。また、都度面談や話し合いを設ける中で悩みを話してくれることが多く、その際は助言を行ったり、一緒に考えていけるよう寄り添いながら相談に応じています。	引き続き、相談に応じ、支援を行っていきます。

等への説明等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		わくわくまつりやクリスマス会、がんばり賞などで保護者会や父母の交流機会を設けており、その差にはきょうだいのお子さんも一緒に参加できる機会を作っている為、利用児ときょうだい同士の交流につながっていると思います。	引き続き、行事や保護者会などを設け、支援していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談の申し入れがあった際はその場で応じたり、日にちを調整したり、即対応するようにしています。	引き続き、できる限り即対応できるよう、努めてまいります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		児発や放デイ(サービスを併用している方がほとんどです)でおたよりを作成したり、HPやコードモン、LINE、文書等を使用して配信しています。	引き続き、情報を発信し、より見やすく発信できるよう工夫していきたいです。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の同意書を説明してご署名いただき、個人情報の取り扱いには十分留意しています。	今後も十分留意していきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		その人その人の特性や状態に配慮した意思疎通や情報伝達ができるよう、視覚的に理解できるような書類や絵カードや写真、LINEなどを駆使しています。	一人一人に合った配慮に、引き続き取り組んでいきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		行っています。電話や送迎時などに相談されることも多く、その都度丁寧に応じ、助言や支援を行っており、今後も努めていきます。	引き続き、相談などにはしっかり応じ、丁寧な対応・助言支援を行ってまいります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		訪問先の状況にもよるので、実施後に行える時と実施しながらお話しする時とありますが、毎回話し合いを持てるようにしています。	訪問先によってはカンファレンスの時間をしっかりとれないこともあるので、訪問先と話し合ってしっかり時間をとっていけるよう話し合っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		訪問後には保護者の方に訪問の内容を面談や電話等で毎回お話しし、共有を図っています。	引き続き、丁寧に行ってまいります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の取り扱いには十分留意しています。個人情報の同意を得て、必要な情報を共有しています。	十分留意していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先からの相談には都度応じ、信頼関係を構築していけるよう、話し合いをできる限り密に行いながら、利用児の特性についてや支援のアドバイスや共有を行い、相談しやすい話しやすい関係作りに努めています。	今後も訪問先と信頼関係をしっかり構築できるよう努めてまいります。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		策定しています。職員には回覧したり、職員会議などで確認したりすることで周知し、保護者には利用契約時に説明し、保護者会などで周知できるよう努めています。	引き続き、周知・訓練等に努めてまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		作成しており、消防署の方に来ていただいたり、必要な研修の実施や検討を危機管理委員で行うなどしています。	引き続き、必要な研修や訓練を行いながら安全管理が十分された中で支援ができるよう努めてまいります。

非常時等の対応	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			共有し、再発防止に向けて職員会議などで方策について意見を出し合い、検討を行っています。	ヒヤリハットの事案が起こった際は再発防止に向けての方策を引き続き全職員で検討し、共有していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			虐待防止についての研修会には必ず参加し、参加できなかった職員には職員会議や事業所内研修の中で伝達研修を行っています。また、支援等で困りを抱えてしまわないようチームで支援していく体制を整えるよう対応し、努めています。	引き続き、研修機会をしっかりと確保して職員も悩みを抱えることなどで、虐待等の行動につながらないようにしっかりと取り組んでまいります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			記載しています。	今後も同様に取り組んでいきます。